



(一社) 沖サ協発第 154 号

2021 年 2 月 26 日

関係者各位

一般社団法人 沖縄県サッカー協会

会長 与那覇 実

《 公 印 省 略 》

ハラスメントのないスポーツ指導を目指して

前 略

日ごろからサッカーの指導にご尽力いただき誠にありがとうございます。近年、皆様の日頃からのご指導のおかげで沖縄県のサッカー界も徐々に活力に満ちた活動を向上させてきております。

さて、ご存知の事と思いますが、先日、沖縄県のスポーツ界において痛ましい案件が発生しております。指導者の言動が大きく影響したと思われる案件ですが、私たち（一社）沖縄県サッカー協会においても、同様なことが起こりえないとは言えません。当協会においても事の大小はありますが、今まで様々な事案が発生している経緯があります。これを機に、私たちの普段の活動の指導の在り方を見直す機会として、下記の項目を確認しておきたいと思っております。

【指導者として】

- ・誰もが楽しめるようにサポートしていく姿勢
- ・プレーヤーと相互尊敬の関係を。常にプレーヤーの事を考えた指導
(プレーヤーの人権や尊厳、人格を尊重し、誰に対しても公平に接する)
- ・自分の権限についての自覚
(指導者は自分の持つ権限・優位性をしっかり自覚して、指導にあたっては自らの言動を律するよう心掛ける)

行為類型	具体例
I 身体的な攻撃	暴行・傷害
II 精神的な攻撃	脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・差別的発言
III 人間関係からの切り離し	隔離・仲間外し・無視
IV 過大な要求	競技上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、競技活動の妨害
V 過小な要求	競技上の合理性がなく、能力や経験とかけ離れた程度の低い練習を命じることや練習をさせないこと
VI 個の侵害	私的なことに過度に立ち入る事

私たち指導者がパワーハラスメントを起こさないために、次のようなことを意識して日々指導に励んでいくことで不幸な事案が防げるのではないのでしょうか。

①勝負がすべてではない。

(負けて学べることもたくさんあります)

②加害者も、被害者も不幸になる。

③プレーヤーの自発性を引き出すコーチングを心掛ける。

(強制と服従の指導ではなく、プレーヤーの気づきを促し、自ら考え、工夫していくことを通して成長を導いていく指導を基本にしましょう。)

④学び続ける姿勢を持つ。

(指導に関する最新の情報をもとにプレーヤーに知識や技術などを的確にアドバイスできるように常に学び続ける姿勢を持ちましょう)

私たちの行動は、将来を担う子供たちを育てていくのために必要とされているものです。指導者の皆さんが今一度ご自分の指導法を見直し、改善される努力を積み重ねていくことで子供たちの未来は大きく開かれていくと信じています。みんなでよりよい未来に向かって進んでいきましょう。

草々

一般社団法人沖縄県サッカー協会

沖縄県 那覇市 奥武山町 51-2 406号室

T E L : 098-996-4722 F A X : 098-996-4733